

平成 25 年度第6回 国立市地域公共交通会議 要点記録

◆日 時 平成 25 年 12 月 11 日（水）午前 10 時 00 分～12 時 00 分

◆場 所 くにたち市民総合体育館 2 階会議室

◆出席者

国立市地域公共交通会議委員（代理出席含む）14 名

会長	岡 村 敏 之	学識経験者
副会長	佐々木 一郎	都市整備部長
委員	佐 藤 祐 浩	一般乗合旅客自動車運送事業者
〃	（代理出席）	〃
〃	原 田 弘 司	一般乗用旅客自動車運送事業者
〃	清 水 光 司	〃
〃	（代理出席）	国土交通省関東運輸局
〃	野 崎 元	都道管理者
〃	江 村 英 利	市道管理者
〃	（代理出席）	警視庁立川警察署
〃	田 中 義 忠	公募市民
〃	三 好 幸 雄	〃
〃	熊 井 大	〃
〃	池 田 洋 介	〃

（欠席）

委員	鵜 澤 健 一	一般旅客自動車運送事業者労働組合 （敬称略）
事務局	4 名	都市整備部交通課交通係

◆配布資料

- ・ 次第
- ・ 資料No.1 コミュニティワゴン試行運行の説明会について（報告）
- ・ 資料No.2 コミュニティワゴン試行運行の開始時期について
- ・ 資料No.3 運行車両の変更について
- ・ 資料No.4 ルートの変更について
- ・ 資料No.5 停留所の位置について
- ・ 資料No.6 ダイヤについて
- ・ 資料No.7 割引サービスについて

◆要点記録

1. 前回の確認など（事務局）

事務局：前回の要点記録はあらかじめメール、ファックス等でご確認を頂いておりますので市のホームページに掲載してあります。

委員一同：異議なし。

2. 議題

（1）コミュニティワゴン試行運行の説明会について（報告）

事務局：（資料 No. 1 を説明）

委員：説明会の参加者が少なかったことについて聞きたい。市内で他の会合があるとそれなりに人が集まっているのを見ているので、なぜ人が集まらなかったのか、事務局の見解を聞きたい。加えて、これで周知したという認識なのか、以上二点お答えいただきたい。

事務局：コミュニティワゴンの説明会に限らず、市報、ホームページ等でお知らせしているが、市で行う市民説明会にはなかなか期待した人数が集まらないというのが現状である。そういったこともあって、11月の自治会説明会の前に、自治会役員向けに一度説明はしていたので、今回の説明会には参加者が少なかったものと考えている。また、会員向けに回覧を行っていただいているので、それなりに周知はできているものと考えている。現在「くにっこ」の車内にコミワゴンの案内チラシを吊るしているが、こちらもかなり多くの皆さまにご覧いただき、試行運行について何回かご質問もいただいている。

委員：私自身バス停に説明会のお知らせを貼ったりしてみたが、全然人が集まらず、関心がないのではと思い、がっかりしている。

委員：自治会ベースの説明会を行ったということだが、新設ルートも通過する富士見台4丁目に合計600戸以上のマンションがあるが、あれは自治会に入っていない。もっと広く周知するために、自治会だけでなくPR効果も含めてもっとうまい方法を考えるべきだと思う。

会長：この説明会には、事業計画に対してご意見をいただくという趣旨と、現行の「くにっこ」の運行が変更になることに対してご理解をいただくという趣旨があったと思う。関心がないというわけではないと思うが、このような結果になっている。ともかくこういった試行運行があるということのお知らせはできたのではないか。あとは、次の課題として実際に運行を開始してから、ルートや運賃等に関して市民の方に使ってもらってからの意見を得るためにも、乗ってもらうための広報が重要になると思う。コミュニティワゴンを使うと生活が便利になりますというような提案型の広報をしていくなど、攻めの姿勢でやりすぎるということはないと思うので、ぜひやっていっていた

だきたい。

委員：車両について、老人ホームの送迎車と勘違いされると意味がないので、一見して誰でもお金を払えば乗れるということがわかるようにしてもらいたい。走り始めてから周知されていくということもあるので、目立つ色等にしてほしい。

事務局：おっしゃるとおりで、用意する車両は標準で白しかないなので、ある程度装飾が必要と考えている。議会の中でも「くにっこ」のようにシンボルマークを作るのかという議論もあったが、試行運行の中ではそこまでせず、本格運行になったら検討したいと考えている。ただ、3つのルートを色や形で区別できるような形にしたい。

会長：色で分けても、コミュニティワゴンが走っていることを知っている人はわかるが、そもそも何か？ということになるので、ラッピングやマグネットシート等で表示することになるのか。

事務局：マグネットシートでの対応を考えていたが、コミュニティワゴンの試行運行ということがわかるようにはしたい。

会長：前面、側面、背面とあるが、後続車のドライバーから見えるので意外と背面が重要ではないかと思う。3台が四六時中動いていればかなり認知度が上がると思うので、ぜひ検討してほしい。

事務局：わかりました。

(2) コミュニティワゴン試行運行の開始時期について

事務局：(資料 No.2 を説明)

委員：3月16日は日曜日(運休)であるが、そもそも16日というのにこだわったのはなぜか。

事務局：16日というのは、「くにっこ」の運行をしている立川バスの締め日が15日であるため、そのタイミングで切り替えた方が、都合がよいためである。

会長：要するに15日で「くにっこ」を休止し、その次の営業日から運行するということであると思うが、16日と17日のどちらにするのか。

事務局：16日をお願いします。

会長：これまで周知の中で、この日付は入れていたのか。

事務局：入れておりません。

会長：利用者への丁寧な説明をお願いしたい。

事務局：わかりました。

(3) 運行車両の変更について

事務局：(資料 No.3 を説明)

委 員：資料にある写真の車両をそのまま使用するのか。

事務局：これは中古車であり、この写真の車両そのものではないです。

委 員：色は白なのか。

事務局：標準色は白しかなく、試行運行なので塗装はしない考えである。

委 員：本格運行とは何か。試行運行の結果が良ければ本格運行、ということになるのか。

事務局：そのとおりで、本格運行の際にきちんと塗装するなりして整えたいと考えている。

委 員：ラッピングでも高いので、マグネットシートを1文字ずつ作成して、「くにっこ」の文字を車のフロントガラス上の部分に貼ったらどうか。「コミュニティワゴン」と書いてもわからないので、「くにっこ」と目立つように書くべきである。

会 長：ベースの色が白なので、むしろデザインはやりやすいように思う。

委 員：ハイエースの車幅 1.69m と車幅 1.88m の車では幅以外に何か違いがあるのか。

事務局：1.88m の方は、運転席側の客席が窓を背にした横座りで、車いすを乗せるときは後部座席をはね上げるものである。一方 1.69m の方は全席前向きの座席となっており、車いす対応の関係で定員が1名少なくなっている。小平市において運行している 1.88m の車はバス同様隣の人とおしゃべりもできるなど好評のようである。

委 員：今回併用とする車両はどれか確認したい。

事務局：予備車を併用の車両としたい。

委 員：予備車は小さい車両なのか。

事務局：1.69m の車で、常用車3台＋予備車1台としたい。

委 員：私も名称は「くにっこ」に統一した方がいいと思ったが、そうするとまた運賃の問題になってしまう。「くにっこ」は170円でシルバーパスが使えるが、ワゴンはそうではない。

委 員：コミュニティワゴンではシルバーパスは使えないのか。

事務局：前回会議でも説明したとおり、シルバーパスについては東京都からの補助金が1人あたり約20円程度出ているが、自治体のコミュニティバス事業はその対象外となっているため、新規路線に関しては補助金が出ない。そうした事情から、高齢者の割引運賃を設定し、承認していただいたところである。

委 員：シルバーパスが使えないということであれば、今までと異なってしまうのではないか。

事務局：たとえば、武蔵村山市では対距離制運賃（シルバーパス利用可）から100円均一にし、再度170円均一に戻した時にシルバーパス補助の対象にならなかったという話を聞いている。なので、やはり新規や運賃を変更するなどした場合は補助対象外ということになる。

委 員：今まで走っている「くにっこ」は廃止ではないのか。

事務局：青柳・泉ルートについては休止となります。

委 員：それでは交通の便がよくない南部の人からすれば「老人いじめ」だと思われてしまうのではないか。

事務局：青柳南アパートの自治会にヒアリングに行った際、「立川市のくるりんバスは100円均一でシルバーパスは使えないが、100円払って乗るのはまったく構わない。かえって、シルバーパス（70歳以上）を持っていないと『若くていいわね』と皮肉を言われることがある」と言っていた。また、武蔵野市のムーバスを始めた時も詳細にヒアリングを行い、100円なら払うという声もあり、要望はあるが開始時から一貫してシルバーパスは対応していないとのことである。

委 員：北部の「くにっこ」が残り、170円でシルバーパス可というのであれば、同じ国立市の中で差ができてしまって不自然ではないか。

事務局：今後、「くにっこ」の料金をどうするのかも含めてこの会議で議論していただければと考えている。また、説明会においてもシルバーパスが使えなくなることについての反対意見はほとんどなく、タクシーよりも往復で安いので助かるという声もあった。できるだけシンプルな形で、今後の選択肢を多く持とうということで、200円で合意をいただいたところである。運行開始後にデータを集めて改めて検討していきたいと思っている。

委 員：お金は先払いか、後払いか。来るときに財布が見つからなくてバスが遅れるということがあったので。

事務局：均一運賃なので先払いです。

会 長：運賃についてははっきりと結論の出るものではないと考えている。試行運行

開始までに周知を徹底し、試行運行開始後も外出機会の増加などについて細かく調査を行い、これからもいろいろな意見をいただきながら検討を進めていきたいと考えている。毎回ご意見をいただきたくよろしくお願いしたい。また、その個別の意見を議事録に残しておいていただきたい。

委員：私が申し上げたいのは、現在走っている「くにっこ」と統一した形で実施して頂きたいということである。

委員：その意味で、料金体系が異なるのであればコミュニティワゴンには「くにっこ」という名称は用いるべきではない。国立のコミュニティワゴンということがわかるような名称にできないか？

委員：コミュニティワゴンは、「くにっこ」とは運行事業者が異なることもあり、名称は別のものにしていただいたほうがいいと思われる。

会長：名称について色々案は出ていたが、決定はしていなかった。名前はどうか。

事務局：予算的にコミュニティバス事業なので「くにっこ」になる。「くにっこ」の中にこのコミュニティワゴンがあるという位置付けになる。本格運行になる時は、新たな名称、シンボルマークを考えて行きたいと思っている。今後協議していく中で、運行形態など違いがあるとなれば、事業を分けていくことになる。

会長：今後周知していくには名前が必要だ。運行日が決まったので、名前は決めなくては。ミニとかワゴンという名を入れた方がいいのではないか。

委員：「くにっこ」という名は入れられないのか。

会長：事務今日の説明では、コミュニティワゴンを「くにっこ」の事業の中の位置付けと説明してきた経緯がある。

事務局：コミュニティバス事業の中で同じものと考えているが、「くにっこ」が小さくなったので「くにっこミニ」とか言っている。「くにっこ」は公募で決めたものであり、正式名をつけるには、本格運行に合わせそれなりの手続きが必要になる。

会長：他の議題が終わった後に、協議することにしたい。車両については 1.88m 3 台と 1.69m 1 台でよいのか。

委員一同：異議なし

(4) ルートの変更について

事務局：(資料 No.4 を説明)

会 長：本格運行になった時にAとCとBがどうなっているかというのはあるが、何年か後に別途協議になる。3年間はこうに実施したいという事でよろしいか。

事務局：矢川団地の建替えは1期工事から4期工事までで、だいたい1期工事が3年になる。試行運行の3年間は、逆回りのコースとバス停で行きたい。

会 長：それではこれで承認ということでよいか。

委員一同：異議なし。

(5) 停留所の位置について

事務局：(資料 No.5 を説明)

会 長：2番目の変更があった停留所は、交通管理者等と合意されたのでこれで行きたいということで意見をもらう。3のその他は承認事項となる。

委 員：泉コースの南プラザ入口の停留所は、左折車や右折レーンに行くのにこの位置で大丈夫なのか。また、南プラザからだいぶ離れるので、入口といえるのか。

事務局：当初は別の場所に設置を検討したが、最終的に設置は難しいということになったため、この位置になった。この位置は、警視庁との実査で決まった。南プラザへの距離は、泉団地入口からと比べても同じ位だ。

委 員：矢川駅は、どこをどういうふうにしようとしているのか。

事務局：矢川駅を少し北に行った所にバス停がある。これをロータリーの中に入ることができないかという意見が警視庁からあった。ただ、立川バスの停車車両の前にワゴンを置くスペースがあるかどうかで、バスの運行に問題がなければロータリー内に持って行きたいという考えがある。ただし、今すぐということではない。

委 員：この件は初めて聞いたことなので、具体的になってきた時に話しを頂ければと思う。

委 員：一橋グランド南が無くなるということだが、矢川・東ルートは新規路線という事で、住民から問題は出てこないと思うが、そもそもなぜここに停留所を作ろうとしたのか。

事務局：この地域には京王バスのバス停があるが一橋グランドの北側になってしまう。これをカバーするために、南側に設置を考えた。また、200mに一か所ぐらいバス停を設置出来ればという考えもありこの位置になったが、道路状況等の問題があり、最終的に今回は設置を断念した。今後他の場所での設置について、試行運行後考えて行きたい。

会 長：色々制約がある中で決めざるを得ないので、試行運行では、これで進めると
いう事でよいか。

委 員一同：異議なし

(6) ダイヤについて

事務局：(資料 No.6 を説明)

会 長：青柳、泉ルートは、起点が市役所が起点で終点が福社会館になり、一週より
少し多い。市役所で時間調整を行うので、路上待機が無くなる。矢川・東ルー
トは路上待機の形になるが問題はないという判断でよろしいか。また、具体的
なダイヤでの乗継に関しても示してもらった。意見はないか。

委 員：今回のダイヤで一番キーポイントになるのは福社会館だと思うが、福社会館
は協力的なのか。ここが乗継拠点になるので、福社会館の協力体制で良くも
悪くもなる。

事務局：ダイヤ案の決定が最近だったので、具体的なコンタクトはまだ取っていない。

会 長：乗継については、一方の時間をずらすとうまくいかないのでは、どちらかの到
着が遅れたらアウトになる。これで乗継は出来るのだが、宣伝をするかどうか
考えた方がいいかも知れない。

事務局：車両には無線機を装備する。大きな遅れが生じた時はしょうがないが、3～
5分程度であれば、連絡を取り乗り継ぐ先の車に待ってもらおうとか、運行事業
者と調整いたしたい。

会 長：大々的に宣伝したのに乗り継げないことがあるのはどうか。矢川・東ルー
トで、少し待って3分遅れると、別のルートにも影響が出るところもある。一部
で出来るというところか。

委 員：話しは若干違うが、南武線の遮断機のインターバルを、役所から J R に変更
してほしいと言えないか。電車が過ぎてから遮断機が開くまでの時間が南
武線は長すぎる。運行にも影響が出るので、個人からよりも市で言っても
らえたらと思う。

事務局：以前南武線の他の場所で同様なことが議会から要望が出され、市から J R に
要望した。しかし、この制御が府中本町から立川まで一連の制御らしく、個々
の遮断機の時間は変えられない、また、安全面を考えて J R の規定の中で行
っているので、すぐ変えるというのは難しいとの話だった。

会 長：ダイヤはこれで行くしかないと思うが、乗継に関しては試行運転を開始して
から使い方の周知をするかどうか決めて行くのでどうか。

委 員：各車両は無線が繋がるのか。

事務局：タクシー無線を載せることになっている。

委 員：会社を通じて無線のやりとりが出来る。

事務局：今後データなど取りたいと思う。

会 長：現状のダイヤについて、提案にあったダイヤ、起終点の変更は承認として、乗継の周知や実際の運用については、運行後考えて行くということでよいか。

委員一同：異議なし

（７）割引サービスについて

事務局：（資料 No.7 を説明）

会 長：これは承認事項でなく、今このようなことを検討しているという報告で、意見をいただくということになる。

委 員：高齢者割引だが、これは 70 歳以上の方が対象になるものだと思うが、どのように確認して料金を払ってもらうのか。

事務局：高齢者割引は、年齢は 70 歳以上、確認はシルバーパスも含め身分証明書で年齢が確認できるもの呈示してもらう。

会 長：シルバーパスを年齢確認の証明書として使用できるので、利便性で考えれば、保険証とか持って行く必要性がなくなる。

委 員：料金設定の時、回数券も考えたらどうかと言った記憶があり、その時は実施しないと言っていた。考え方として、人を多く乗車させるにはどうしたらよいか。人が多く乗ればこの事業はうまくいくので、その視点で考えてほしい。

委 員：回数券は、1 枚でなく 2 枚多くするとかできないのか。

会 長：色々考えるところがあった、乗車する人は、200 円の人や 100 円の人などがいて、10 円単位で運転手が（回数券の）やりとりするのは難しいので、1000 円とか分かりやすい金額で、その中で何枚多くするかという形がいいと思うが、どのような形がいいかという具体的な提案は、今日はないということによいか。

事務局：現在のくにつこは、1700 円で 11 枚と、1 枚多くなっていて、1 枚当たり 155 円、割引率は 9%になる。ワゴンは 200 円なので、2000 円で釣りのないようにしたい。くにつこと同じ様な金額ということで考えると、2～3 枚つけなければならない。割引率で考えるなら 1 枚つければよい。全体のくにつこの料金も含めて考えていく中で、この回数券もどうすればよいのか考えていく必要がある。今すぐ回数券をどうするかではなく、実施に向けて意見をいただければと考えている。

会 長：2000 円という金額がいいのかどうか。高齢の方なら 20 回以上乗車することになる。週に 4 回なら一月以上かかるので、そんなに乗るのかという思いもある。試行運行で 2000 円がいいのかという考え方はあると思う。今回は高齢の方が多く乗ると思われるので、1000 円ぐらいがいいのかどうか、色々考えるところがある。

割引サービスは、いろんな声があったということで、実施するということを前提に考えて行くということでよろしいか。

次回には具体的な案を出していただくか、場合によっては書面会議もありうるという事で、お願いしたい。

(8) くにっこ 170 円回数券の販売方法の変更時期について

事務局：(資料 No.8 を説明)

会 長：これは報告という事でよろしくおねがいしたい。

3. その他

事務局：次回の交通会議について、事業の評価をどうするかについて意見を聴きたいので、年度内に開催できればと思っている。できれば 2 月か年度を越したあたりに開催いたしたい。実態調査については、運行開始後職員が適時行うということで考えているが、基本的には年 2 回程度調査員を雇って 1 週間か 2 週間連続的に調査をしていく予定なので、そのデータを分析し、整ったら交通会議において意見を伺いたいと考えている。だいたい夏くらいと考えている。

委 員：3 月 16 日には何かするのか。

事務局：16 日は日曜日なので 17 日になるが、今のところ特段の指示は受けていない。ただし、少しはなにかやった方がいいのかなと思っている。

会 長：17 日の朝は早くから動き始めているので、その時間はどうかと思うが、市役所発なら早くてもできるのではないか。

委 員：16 日にバスを動かすのは何か問題はあるのか。

事務局：事業は 16 日からなので、大丈夫かと思う。試しに乗ってもらうのもいいかもしれない。

委 員：出発式で、市長、市職員に出てきてもらうのが良いと思う。

委 員：くにっこの 170 円の回数券の販売を続けることになるが、平成 26 年 4 月 1 日に消費税率の改定がある。くにっこの運賃はどうなるのか。170 円のままでということなら市の負担は多くなる事を了承してほしい。

事務局：負担については運行協定の中で行っているので、その分が増額になることはやむを得ないと考えている。

会 長：コミュニティワゴンの名称について、事務局で考えの整理をしてほしい。

事務局：試行運行ということになるが、くにっこという名称も親しまれている。この名前から離れるというのは今の段階では好ましくないと思う。試行運行に限って、くにっこミニとかそういう名前で交通会議の中で決まれば、その名前で、仮称にするか3年間の限定にするかということで整理したいと考えている。

会 長：私の考えは、行政の事業名のコミュニティワゴンを前面に出すのはよくないというのがひとつ。完全に別愛称となると、公募とか市民への手続きがあって、本来やるべきであったと反省するところだが、今から別愛称をつけるということは唐突と思う。この二つを満たすというよい案がないか智恵を絞りたい。くにっこという名前を使いつつ、バスとは違うということが分かる愛称を作ることがよいのではないか。

委 員：「くにっこミニ」か「くにっこワゴン」がいいのではないか

委 員：くにたち観光まちづくり協会では「くににゃん」というマスコットキャラがある。協会の集まりの中で、くにっこワゴンだから「くにゴン」はどうかという話しもあった。

事務局：いまのくにっこは、愛称とシンボルマークは別々に公募した。くにっこという名称は使っていきたいという思いはある。

会 長：「くにっこミニ」か「くにっこワゴン」のどちらかで決めるのでどうか。今のシンボルマークを貼るのか貼らないのかは、別の議論になるかもしれない。

※くにっこミニを推す声が多い

会 長：それでは「くにっこミニ」としたい。

(以上)